

秋田公立美術大学教育方針（案）

1 アドミッションポリシー（入学者受入方針）について

秋田公立美術大学は次のような意欲や目的意識を持った学生を求めています。

- (1) 芸術の未知の領域に強い関心を持つ人
- (2) 自ら問題を発見し、積極的に学ぶ意欲のある人
- (3) 芸術分野で自立する意欲のある人
- (4) 身につけた能力を社会に還元する意欲のある人

2 カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）について

秋田公立美術大学は、大学の理念を実現するため次のような方針によりカリキュラムを編成しています。

- (1) 秋田公立美術大学のカリキュラムは、「教養科目」「キャリア教育科目」「専門科目」で構成する。

「教養科目」は、幅広く深い教養、および豊かな人間性を涵養することを、「キャリア教育科目」は、卒業後の社会的自立、あるいは専門性を生かした就業へと結びつけていくことを目的とする。

「専門科目」は、「専門共通科目」と「専門専攻科目」の2科目群とし、前者は「導入科目」「総合科目」「専門基礎科目」「美術理論・美術史科目」で構成され、導入部分から専門までの幅広い専門教育を実現する。後者は大学を特色づける5つの専攻科目群で構成され、より高度な知識や技術を学ぶことを目的とする。

その他に、教員および学芸員の育成のため「教職課程科目」および「博物館学芸員課程科目」をおく。

- (2) 学びのプロセスとしては、1・2年次に学生自らの様々な可能性を模索しながら、学びたい分野や進むべき方向性の絞り込みを行うため、「教養科目」「専門共通科目」「キャリア教育科目」で各専攻理論および素材・技法ならびに教養的素養および地域・社会との連携などを総合的に学ぶ。

3・4年次はそれまでの課程を踏まえた上で、自分の適性に沿って選択した「専門専攻科目」において、より高度な知識や技術を学び、「卒業研究」までの課程を通して、自らの創造性を見出し、新しい芸術表現を模索できうる能力を身につける。

3 ディプロマポリシー（卒業認定に関する方針）について

秋田公立美術大学では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生が卒業認定されます。

- (1) 美術やデザインの様々な分野における価値の多様性を認め、柔軟な発想と広い視野をもって新しい芸術表現を模索できる能力
- (2) 創造的思考力とそれを表現できる能力を持ち、他者や社会と多彩な価値観を交換、共有しながら、グローバルに自らを発信する能力
- (3) 人間と社会のあり方に結びついた美術の意義を洞察する力を持ち、地域の「良さ」や「美しさ」を再発見し、それを自ら具現化しながら、地域活力の向上に寄与できる能力